

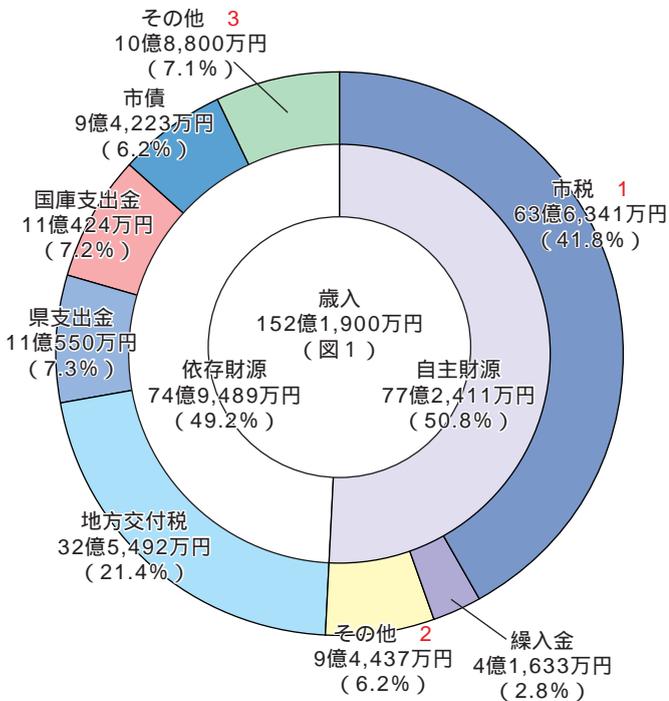
# 平成20年度の予算と主な事業

平成20年度一般会計予算および特別会計予算が、3月定例議会において成立しました。一般会計予算額は、152億1,900万円で、前年度の予算額164億300万円より、7.2%の減となっています。特別会計予算額は、116億8,524万2千円で、前年度の予算額158億7,016万1千円より、26.4%の減となりました。

平成20年度予算においては、「人と自然が調和する生活緑園都市」の実現に向け、都市基盤整備、保健医療対策、教育対策などの政策課題への取り組みに配慮した編成を行っています。

## 一般会計・歳入

歳入の根幹となる市税は、前年度(63億5,956万円)とほぼ同額となっており、また地方交付税については、微増(2.5%増)となります。一方で、市債のうち臨時財政対策債などが減少しており、歳入全般において伸びが見込めない状況となっています。



### 1 市税の内訳

・市民税	32億2,112万円
個人	29億2,228万円
法人	2億9,884万円
・固定資産税	25億9,897万円
・軽自動車税	8,332万円
・市たばこ税	4億6,000万円

### 2 自主財源：その他の内訳

・分担金及び負担金	2億7,907万円
・使用料及び手数料	3億8,723万円
・財産収入	5,880万円
・寄付金	300万円
・諸収入	2億1,627万円

### 3 依存財源：その他の内訳

・地方譲与税	2億8,200万円
・利子割交付金	2,500万円
・配当割交付金	2,400万円
・株式等譲渡所得割交付金	1,900万円
・地方消費税交付金	4億7,000万円
・ゴルフ場利用税交付金	2,000万円
・自動車取得税交付金	1億7,500万円
・国有提供施設等所在市町村交付金	700万円
・地方特例交付金	5,300万円
・交通安全対策特別交付金	1,300万円

## 用語解説

市税  
皆さんが、市に納めていただいた税金(市民税・固定資産税等)

臨時財政対策債

財源の不足に対処するために認められた特別の借入金 後年度の返済時に、地方交付税措置があります。

繰入金

基金等から一般会計に繰り入れるお金

地方交付税

国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金

市債

事業を行うために借入れるお金

自主財源

市税や施設の使用料などが独自で調達するお金

依存財源

国・県などの意志により交付されるお金

一般会計

市民生活と密接に関わりのある福祉・教育・道路整備等を行うため、市税

# 当初予算規模

( )内は前年度比増減率

一般会計	152億 1,900万円	(7.2%減)
特別会計	116億8,524万2千円	(26.4%減)
内訳		
・国民健康保険事業特別会計	56億 5,493万円	(3.7%減)
・老人保健事業特別会計	5億 2,975万円	(90.0%減)
・後期高齢者医療特別会計	6億 886万8千円	(今年度より)
・介護保険事業特別会計		
保険事業勘定	24億8,992万9千円	(6.6%減)
介護サービス事業勘定	1,957万9千円	(18.4%減)
・下水道事業特別会計	23億7,227万5千円	(17.6%増)
・住宅新築資金等貸付事業特別会計	991万1千円	(5.0%増)
予算総額	269億 424万2千円	(16.6%減)



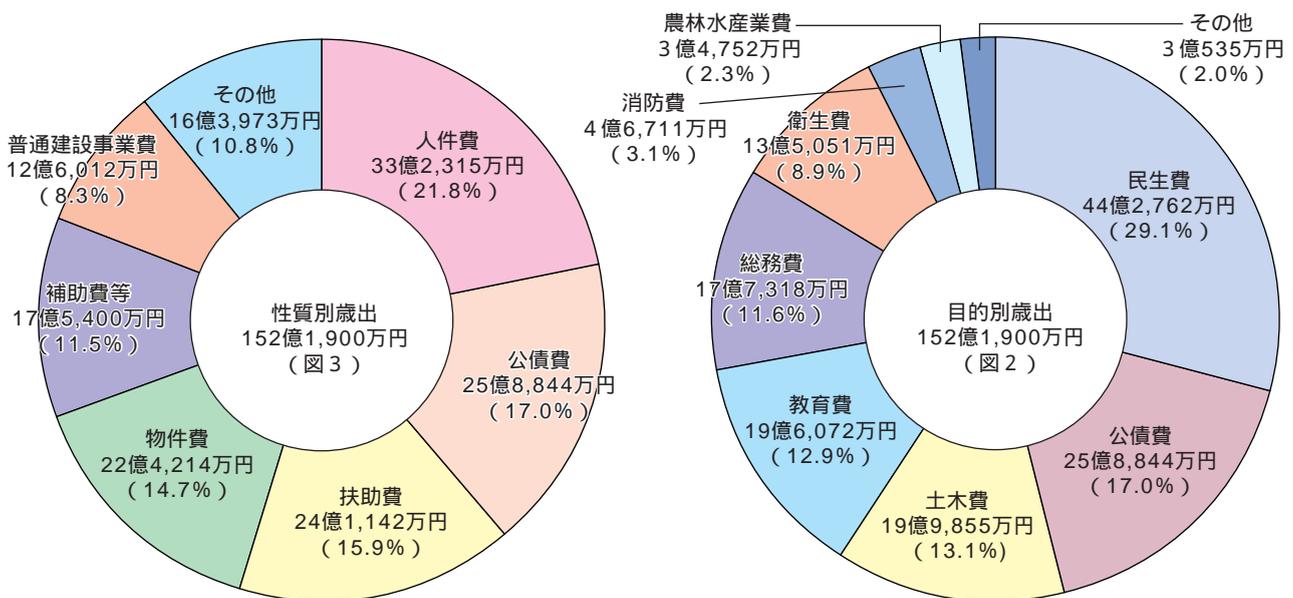
# 一般会計・歳出

目的別歳出(図2)

社会福祉や高齢者、児童福祉などに使われる「民生費」が約3割を占め、前年度26.6%から2.5ポイントの増となりました。

性質別歳出(図3)

義務的経費(支出が義務付けられ任意に削減できない経費)である「人件費」・「公債費」・「扶助費」の合計が、54.7%と全体の半分以上を占めています。



や国・県からの支出金、地方交付税等を財源として行政を運営する会計  
特別会計  
特定の歳入で特定の支出にあてて運営する会計

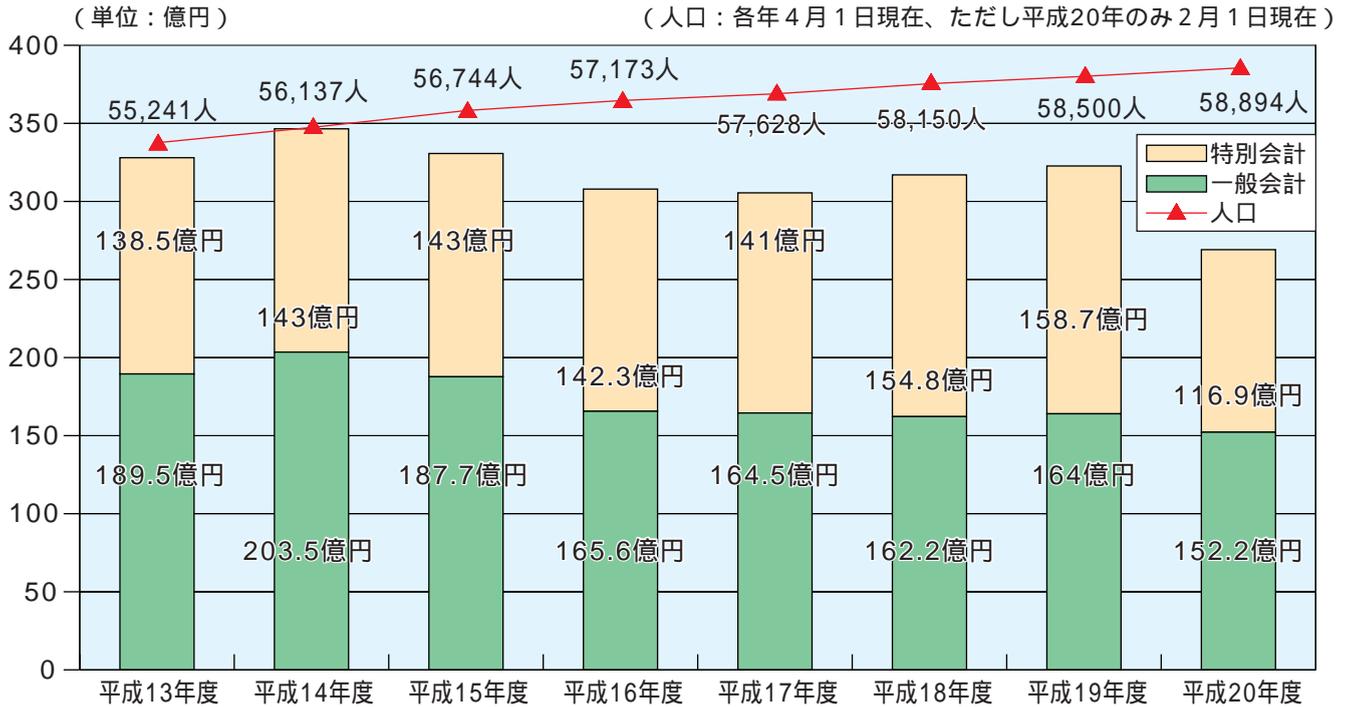
## 目的別歳出

民生費  
福祉全般の事務・事業に使うお金  
公債費  
借入れたお金を返済するためのお金  
土木費  
都市基盤整備や道路、公園、河川等の維持管理・改良等に使うお金  
教育費  
小・中学校の運営費用や公民館、図書館等教育全般の事務・事業に使うお金  
総務費  
課税徴収、選挙等市の総合的な事務に使うお金  
衛生費  
感染症予防、成人等保健、母子保健や環境保全、ゴミ処理等に使うお金

## 性質別歳出

人件費  
職員や特別職の給与、議員及び各種委員会委員の報酬に使うお金  
扶助費  
生活保護費、児童手当、医療費等に使うお金  
物件費  
委託料、光熱水費、備品購入費等に使うお金  
補助費等  
各事業や団体への補助金や負担金に使うお金  
普通建設事業費  
道路・橋梁等の整備や公共施設の増改築等に使うお金

## 人口と予算の推移



## 市民一人当たりの予算

平成20年度  
市民一人当たりの一般会計予算  
**25万8,413円**  
平成20年2月1日現在  
人口：58,894人

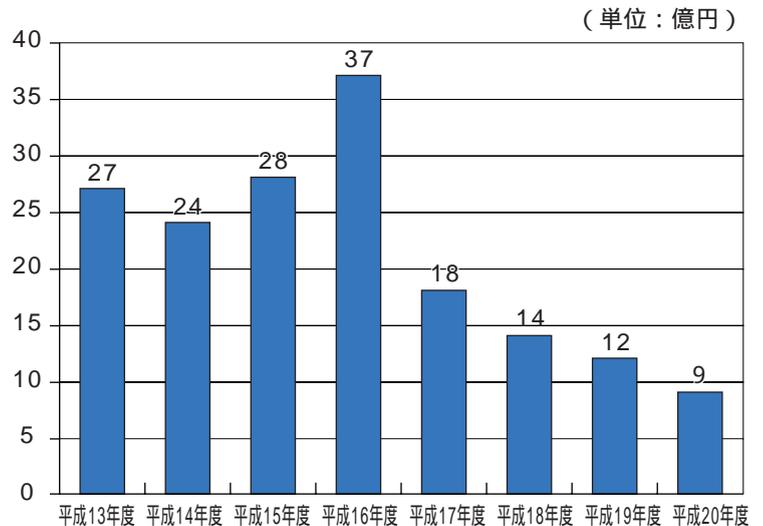
### 歳出

民生費	75,179円
公債費	43,951円
土木費	33,935円
教育費	33,292円
総務費	30,108円
衛生費	22,931円
消防費	7,931円
農林水産業費	5,901円
その他	5,185円

### 歳入

市税	108,048円
地方交付税	55,267円
県支出金	18,771円
国庫支出金	18,750円
市債	15,999円
繰入金	7,069円
その他	34,509円

## 市債発行額の推移 (一般会計)



市債とは、市が事業を行うために借り入れるお金のことです。平成20年度は、9億4,223万円の発行を予定しています。平成15年度及び平成16年度は、あすてらす（総合保健福祉センター）建設のために発行額が増えています。

今後は、毎年の発行額を10億円以下に抑えて、市債の残高を減らして、財政の健全化をはかります。



# ■ 主な事業について

## 都市基盤づくり

### 道路・交通網

- 九州歴史資料館関連道路整備事業
- 西鉄小郡駅バリアフリー化事業
- 二森・八坂34号線（味坂校区幹線）道路整備事業
- 端間駅周辺地区計画道路整備事業

### 消防・防災

- 第2分団2部消防団施設整備事業 など



二森・八坂34号線道路整備事業

## 快適な居住環境づくり

### 環境衛生対策

- 筑紫野・小郡・基山清掃施設組合負担金

### 下水道

- 公共下水道整備事業

（西島、大保、宝城南、上西、二森、古飯、二タ、下岩田地区）

### 住宅・市街地

- 市営住宅（駅前住宅）外壁改修事業 など



視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業（WEBカメラ）

## 教育と地域文化づくり

### 学校教育

- 大原小学校校舎耐震補強事業
- 小学校2次耐震診断事業
- 中学校2次耐震診断事業

### 生涯学習

- 陸上競技場・文化会館改修事業
- 男女共同参画社会の推進
- 男女共同参画推進費 など

## 共に創るまちづくり

### 広域行政

- グランドクロス広域連携協議会負担金
- 筑後田園都市負担金 など



西鉄小郡駅バリアフリー完成イメージ図

## 活力ある産業づくり

### 農業

- 小郡東部地区一般農道整備事業
- ため池整備事業
- 農地・水・環境保全向上対策事業

### 商業

- 小郡市商店街活性化がんばろう会事業 など

## 健康と福祉づくり

### 福祉

- 視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業
- 福岡県後期高齢者医療広域連合負担金

### 人権・同和対策

- 人権・同和対策推進事業

### 保健活動

- 特定健診・特定保健指導事業 など



大原小学校校舎耐震補強事業



市内外の利用者に好評な陸上競技場の改修